

平成29年度8月教育委員会議定例会議事日程

日 時 平成29年8月25日(金)
9時30分より
場 所 町民センター2Aクラブ室

1 開会宣言

2 署名委員の指名

3 教育長事務報告

4 付議事項

(1) 議案第5号 平成29年度二宮町一般会計補正予算(案)について

5 報告・協議事項

(1) 二宮町立小学校及び中学校等防犯カメラ運用要綱の制定について…資料1

(2) 二宮町教育委員会点検及び評価実施要領の一部を改める要領について

…資料2

(3) 二宮町教育委員会点検及び評価報告書(案)について

…資料3

(4) 平成29年度第3回「にのみや子どもはぐくみ塾」開催状況報告について

…資料4

(5) 教育支援室教育相談活動について…資料5

(6) 二宮町体育祭について…資料6

(7) その他

* 次回教育委員会議予定

6 閉会宣言

平成29年8月定例教育委員会議 教育長事務報告

(29.7.29~29.8.24)

- 7月29日 土 二宮町地区対抗バウンスポール大会
7月31日 月 縣市町村教育長会連合会第1回幹事会
8月 1日 火 洋上研修見送り式
町職員辞令交付式
政策会議
8月 5日 土 ガラスのうさぎ像 平和と友情のつどい
8月18日 金 総合教育会議
8月22日 火 中郡初任者研修会
8月24日 木 第2回中地区教育長会議

教育総務課事業報告

事業報告

(平成29年7月28日～平成29年8月24日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	人数
7月31日	月	幼保小研修会兼特別支援教育研修会	町民センター	44
8月 2日	水	社会科副読本検討委員会	教育支援室	8
8月 3日	木	初任者研修会	教育支援室	7
8月 3日	木	普通救命講習会	消防署	15
8月 5日	土	ガラスのうさぎ像平和と友情のつどい	ラディアン	250
8月 8日	火	小中一貫カリキュラムワーキンググループ会議	町民センター	90
8月 8日	火	小中一貫教育研修会	町民センター	96
8月 8日	火	普通救命講習会	消防署	15
8月 9日	水	児童・生徒指導研修会	町民センター	38
8月10日	木	小中学校校長会	役場	8
8月16日	水	学校事務連携会議	町民センター	8
8月18日	金	総合教育会議	役場	10
8月22日 ～23日	火 ～水	初任者宿泊研修会	足柄ふれあいの村	7
8月24日	木	情報教育担当者会	山西小学校	6
8月24日	木	ICT活用指導力向上研修会	山西小学校	23
8月24日	木	にのみや子どもはぐくみ塾	ラディアン	

事業予定

(平成29年8月25日～平成29年9月28日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	予定人数
8月29日	火	二宮西中学校2学期始業式	二宮西中学校	-
8月31日	木	一色小学校コミュニティ・スクール準備委員会	一色小学校	13
9月 1日	金	小学校、二宮中学校2学期始業式	各小学校、二宮中学校	-
9月15日	金	学校事務連携会議	町民センター	8
9月26日	火	社会科副読本検討委員会	教育支援室	8
9月28日	木	にのみや子どもはぐくみ塾	ラディアン	30

学校給食センター

事業報告

(平成29年7月28日～平成29年8月24日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	人数
夏休み中のため、会議、行事等はありませんでした。				

事業予定

(平成29年8月25日～平成29年9月28日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	予定人数
9月 1日	金	中学校 2学期給食開始		-
9月 4日	月	小学校 2学期給食開始		-
9月 5日	火	献立会議 (PTA)	給食センター	8
9月 6日	水	献立会議 (給食担当者)	給食センター	8

生涯学習課事業報告（平成29年7月28日～平成29年8月24日）

生涯学習・スポーツ班

月/日	曜日	会 議 ・ 行 事 等	開 催 場 所	定員	参加人数
8/1～ 8/3	火～ 木	広域連携中学生交流洋上体験研修	新島	10人	4人
8/2	水	愛のパトロール③	町内	10人	6人
8/3	木	子どもチャレンジ教室 「洞窟陣地ってなんだろう？」	ラディアン ミーティングルーム2	15人	5人
8/6	日	子どもチャレンジ教室 「折り紙で遊ぼう」	ラディアン ミーティングルーム1	15人	6人
8/8	火	スポーツ推進委員連絡協議会	ラディアン ミーティングルーム1	20人	14人
8/11～ 8/13	金～ 日	第2回ジュニアリーダー養成研修会	西丹沢中川ロッヂ	開催 中止	—
8/16	水	学校開放9月分予約日	ラディアン ミーティングルーム1	—	20人
		愛のパトロール④	町内	10人	7人
8/19	土	子どもチャレンジ教室 「ペットボトルロケットを作って飛ばそう」① —作る—	ラディアン ミーティングルーム2	20人	11人
		愛のパトロール⑤	町内	19人	雨天の為 中止
8/22	火	子どもチャレンジ教室 「ペットボトルロケットを作って飛ばそう」② —飛ばす—	町民運動場	20人	11人
		放課後子ども教室サポーター打合せ会	ラディアン ミーティングルーム1	—	14人

・バウンズボール大会(スポーツ推進委員主催事業)7月29日(土)・30日(日)8:30～17:00

・総合型地域スポーツクラブ(ラビッツ)設立準備委員会 8月10日(木)19:30～

生涯学習課事業予定（平成29年8月25日～平成29年9月28日）

生涯学習・スポーツ班

月/日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	開始時間
8/26	土	県立青少年センター共催 「プチロボで競走しよう 二宮大会」	ラディアン ミーティングルーム2	10:00
8/29	火	にのみや町民大学 「リニアモーターカーはなぜ走るのか？」①	ラディアン ミーティングルーム2	13:30
8/30	水	子ども野外研修実行委員会 臨時会	ラディアン マルチルーム1	19:00
8/31	木	体育祭抽選会及び説明会	ラディアン ミーティングルーム2	19:15
9/2	土	三町（大磯・二宮・中井）スポーツ推進委員 交流会	町立体育館	13:00
9/5	火	にのみや町民大学 「がんを知ろう」	ラディアン ミーティングルーム2	13:30
9/6	水	にのみや町民大学 （入門講座）「水墨画をはじめよう」①	ラディアン ミーティングルーム1	13:30
9/8	金	体育祭主任者会議	ラディアン ミーティングルーム1	19:00
9/9	土	第2回子ども会指導者・青少年指導員合同研 修会	ラディアン ミーティングルーム2	13:30
9/11	月	放課後子ども教室（一色小①）	一色小学校 体育館	14:45
9/12	火	にのみや町民大学 「リニアモーターカーはなぜ走るのか？」②	ラディアン ミーティングルーム2	13:30
		体育祭団体職域別リレー抽選会	ラディアン ミーティングルーム2	19:00
9/13	水	にのみや町民大学 （入門講座）「水墨画をはじめよう」②	ラディアン ミーティングルーム1	13:30
9/15	金	体育祭学校開放9月分予約日	ラディアン ミーティングルーム2	10:00
		体育祭監督者会議	ラディアン ミーティングルーム2	19:00
9/22	金	放課後子ども教室（山西小②）	山西小学校 体育館	15:10
9/23	土	第2回子ども会リーダー研修会	ラディアン ミーティングルーム2	13:30
9/24	日	子どもチャレンジ教室 「どんな虫がいるかさがしてみよう」	町内（一色方面）	9:00
9/27	水	にのみや町民大学 （入門講座）「水墨画をはじめよう」③	ラディアン ミーティングルーム1	13:30
		青少年指導員連絡協議会③	ラディアン ミーティングルーム2	19:30

・総合型地域スポーツクラブ(ラビッツ)設立準備委員会 9月13日(水) 19:30～

生涯学習課事業報告(平成 29年7月28日～平成29年8月24日)

図書館班

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所等	参加者数等
8/2	水	図書リサイクルコーナー	図書館	251冊
8/9	水	ちいちゃいおはなし会	図書館おはなしのへや	子ども14名 大人8名
8/17	木	託児サービス	ラディアン保育室	0人
8/17	木	修理ボランティア	ボランティアルーム	5名37冊
8/17	木	インターンシップ受入:二宮高校(3日間)(～19日)	図書館	1人
8/17	木	インターンシップ受入:神奈川大学(10日間)(～31日)	図書館	2人
8/18	金	わらべうたであそぼう(未就園児とその親)	ラディアン和室	子ども18名 大人17名
8/18	金	中学生見学・意見交換会	図書館およびマルチルーム1	中学生6名 他13名
8/19	土	こわーいおはなし会	図書館おはなしのへや	子ども32名 大人35名
8/23	水	修理ボランティア	ボランティアルーム	3名24冊
書架整理ボランティア (7/28～8/23活動日数13日)			図書館	のべ24人/のべ32時間45分

生涯学習課事業予定(平成 29年8月25日～平成29年9月28日)

図書館班

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所等	開始時間
9/1	金	図書リサイクルコーナー	図書館	9:30～
9/13	水	ちいちゃいおはなし会	図書館おはなしのへや	10:00～
9/13	水	修理ボランティア	ボランティアルーム	10:00～
9/15	金	わらべうたであそぼう(未就園児とその親)	ラディアン和室	①10:00～ ②11:00～
9/16	土	おおきいおはなし会 - 小学生から	図書館おはなしのへや	13:30～
9/16	土	おはなし会とおりがみあそび	図書館おはなしのへや	14:00～
9/17	日	雑誌リサイクルコーナー	図書館	10:00～
9/21	木	託児サービス	ラディアン保育室	10:00～
9/21	木	修理ボランティア	ボランティアルーム	10:00～
※9/25(月)～10/2(月)特別館内整理休館				

※書架整理ボランティアの活動日:原則 毎週火曜日・土曜日 9:30～17:00

二宮町立小学校及び中学校等防犯カメラ運用要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、二宮町教育総務課が所管する二宮町立小学校及び中学校並びに二宮町教育研究所に設置された防犯カメラの設置及び運用に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 防犯カメラ 児童生徒の安全確保及び校内秩序の保持を目的として設置し、画像記録装置を有するカメラをいう。

(2) 画像データ 防犯カメラにより撮影され、画像記録装置に記録された映像又は映像のデータをいう。

(管理責任者及び事務担当者)

第3条 防犯カメラの適正な設置、運用及び維持管理を図るため、防犯カメラ管理責任者(以下「管理責任者」という。)を置くものとし、教育総務課長をもって充てる。

2 管理責任者は、防犯カメラの管理、運用等に関する事務を行う者(以下「事務担当者」という。)を指定することができる。

(防犯カメラの撮影区域)

第4条 防犯カメラの設置及び運用にあたり、児童生徒の安全確保及び校内秩序の保持効果の向上と個人のプライバシー保護との調和を図るため、撮影区域を必要な範囲に限定するよう努めるものとする。

(設置表示)

第5条 防犯カメラを設置するにあたっては、撮影区域の見やすい場所に、防犯カメラが設置されている旨の表示を行わなければならない。

(画像データの取扱いの制限)

第6条 管理責任者及び事務担当者(以下「管理責任者等」という。)以外の者は、画像データを取り扱うことができない。

(画像データの提供の制限)

第7条 管理責任者等は、画像データを複製し、又は印刷したものその他画像データに係る一切の情報を、他に提供してはならない。ただし、次に掲げる場合はこの限りでない。

(1) 法令等に定めがあるとき。

(2) 人の生命、身体又は財産を守るため、緊急かつやむを得ない理由があると認められるとき。

(3) 捜査機関から犯罪捜査の目的により要請を受けたとき。ただし、捜査機関が画像データの提出を求めるときは、法令等の手続によるものとする。

2 前項の規定により画像データを提供する場合、画像データの取り扱い及び廃棄について、適切な措置を講じなければならない。

(画像データ等の適正管理)

第8条 管理責任者等は、画像データ及び画像データを記録した媒体（以下「画像データ等」という。）の管理、運用等にあたり、画像データ等の漏えい、滅失、毀損又は改ざんの防止その他画像データ等の安全確保のため、次に掲げる措置を講じるものとする。

(1) 画像データ等は、厳重に管理し、管理責任者が許可した場合を除き、画像データの記録媒体への複写及び加工並びに設置場所以外への持ち出しは禁止する。

(2) 画像データの保存期間は10日以内とし、不必要な保存は行わないこと。

(3) 画像データ等を画像表示機器に再生するときは、管理責任者等が行い、かつ管理責任者が指定した場所で行うこと。

(4) 保存期間が終了した画像データは、直ちに消去するものとする。この場合において、記録装置を廃棄する場合は、読み取りが物理的に行えないよう、粉碎、裁断等の処理を行うものとする。

(5) 前各号に掲げるもののほか、画像データ等の不正利用、外部流出、改ざん等を防止するために必要な措置を講ずるものとする。

(苦情処理)

第9条 管理責任者は、児童生徒及びその保護者並びに町民等から防犯カメラの設置、運用等に関する苦情を受けたときは、速やかに対応し、適切な措置をとらなければならない。

(個人情報保護条例の遵守)

第10条 画像データから特定の個人が識別され又は識別され得る場合には、二宮町個人情報保護条例（平成10年二宮町条例第2号）に基づき、適正に取り扱わなければならない。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、公表の日から施行する。
(二宮町立小学校及び中学校防犯カメラ運用要綱の廃止)
- 2 二宮町立小学校及び中学校防犯カメラ運用要綱は、廃止する。

資料 2

二宮町教育委員会点検及び評価実施要領の一部を改める要領

二宮町教育委員会点検及び評価実施要領（平成 26 年二宮町教委員会告示第 14 号）の一部を次のように改正する。

別紙 2 を次のように改める。

別紙 2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
	現計予算額	決算額	現計予算額	決算額
成果・課題	評価・所見			

附 則

この要領は、公表の日から施行する。

案

資料 3

平成 29 年度
二宮町教育委員会
点検及び評価報告書
(平成 28 年度事業分)



平成 29 年 10 月
二宮町教育委員会

目次

はじめに	1
平成 28 年度二宮町教育委員会基本方針	2
教育委員会について	9
第 1 章 教育委員会の活動状況について	10
1 教育委員会議の運営状況（平成 28 年度）	
2 学校訪問	
3 研修会	
4 その他の活動状況	
5 教育委員会議の公開	
6 教育委員会の活動状況、点検評価	
第 2 章 教育委員会における主要事務の執行状況	22
1 教育総務課の主要事業	
2 生涯学習課の主要事業	
3 主な事業の執行状況 点検評価	
第 3 章 外部評価	34
参考資料.....	38
二宮町教育委員会点検及び評価実施規則	
二宮町教育委員会点検及び評価実施要領	

はじめに

平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会において毎年、教育に関する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが義務づけられました。

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定、及び「二宮町教育委員会点検及び評価実施規則」に基づき作成されたものです。

1 点検及び評価取り組みの趣旨

- (1) 教育委員会が管理及び執行する事業の取り組み状況について、点検及び評価を実施することにより、より効果的・効率的な教育行政の推進を図ります。
- (2) 毎年、点検及び評価を実施することで、変化する社会経済情勢への対応が的確になされ、教育委員会の施策の立案及び進行管理、事業の見直し等に活用します。
- (3) 報告書を議会へ提出し、町民へ公表することにより、町民への説明責任を果たし、町民との信頼関係が保たれます。

2 点検及び評価の対象事業

平成 28 年度の事業を対象とし、大きく次の 2 区分とします。

- ① 教育委員会議、学校訪問、研修及びその他教育委員が直接関与している事業の活動状況を「教育委員会の活動状況」とします。
- ② 教育委員会が管理及び執行している事務事業並びに教育長に委任している事務のうち重点施策及び主たる取り組みを「教育委員会における主要事務の管理及び執行状況」とします。

3 点検及び評価の方法

- (1) 教育委員会による点検及び評価
対象となる事業の取り組み状況、成果、今後の改善点等をまとめます。
- (2) 外部による点検及び評価についての意見
外部から見た検証・意見等を報告書の内容全般についてまとめます。

4 点検及び評価結果の公表等

点検評価終了後、その結果を取りまとめた報告書を二宮町議会に提出するとともに、報告書を町民へ公表します。

平成 28 年度二宮町教育委員会基本方針

教育は人格の形成をめざし、個性を尊重しつつ、自立した人間を育て、幸福な生涯を実現させる上で不可欠なものです。社会が急速に変化する今日、将来を担う子どもたちには、これまで以上に他と協調しながら自ら考え生涯を切り拓いていく生きる力が求められています。

このような背景の中、新たな教育委員会制度がスタートして1年が経過しました。その過程で、二宮町では『二宮町教育大綱』を策定し、基本理念として、「地域の力を活かした共に学び共に育つ教育」の推進を掲げ、児童・生徒の生きる力を育むとともに、それを取り巻く教育環境の整備、生涯にわたる学習への支援などを当面の二宮町の教育における指針としました。

二宮町教育委員会では、この教育大綱を踏まえ、平成 28 年度を将来に向けた教育環境づくりのスタートの年と位置付け、今後予想される様々な変革に対応できる「地域とともにある学校」をめざし、具体的な検討をはじめます。

また、生涯にわたり学習することのできる環境の整備と学習機会の提供をめざし、町民が主人公となる生涯学習事業を推進していきます。

なお、施策の推進にあたっては、二宮町総合戦略及び第 5 次二宮町総合計画中期基本計画と整合を図り取組むこととします。

今年度の重点施策

- 1 児童・生徒の「生きる力」の育成
 - (1) 自ら学ぶ力を養うための教育の推進
 - ①言語活動の充実を基盤とした学び合いの促進
 - ②コミュニケーション能力の育成
 - (2) 地域社会とともに生きる力の育成
 - ①児童・生徒の地域活動への参加促進
 - ②体験活動の充実
- 2 すべての児童・生徒が安心して学べる教育環境の整備
 - (1) 支援が必要な児童・生徒への対応の充実
 - ①いじめ、不登校、ひきこもり等に対する体制の強化
 - ②支援教育の充実
 - (2) 教職員の指導力の向上
 - ①「二宮町学びづくり推進研究事業」の推進
 - ②教育研究所における研修ならびに調査研究の充実
- 3 将来に向けた特色ある学校づくりの推進
 - (1) コミュニティ・スクール導入に向けた検討
 - (2) 小中一貫教育導入についての検討
- 4 社会全体による子育て
 - ①放課後子ども教室の実施

- 5 図書館の充実
 - ①子育て世代が魅力を感じる図書館づくり
 - ②図書館資料の充実
 - ③図書館サービスの充実
- 6 地域に向けた情報発信の強化
 - ①二宮町ホームページや広報紙の積極的な活用

1 学校教育

すべての教育活動を通して、児童・生徒が人権尊重の意識を高め、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるようになり、安心して楽しく学ぶことのできる学校づくりを進めます。

このような人権教育の推進を基盤に「教育環境のさらなる充実」、「生きる力の育成」を基本とし、各学校では「子どもたちの育つ力」、「家庭・学校・地域の育む力」、「行政の支える力」をあわせ、自ら学び自己実現をめざす児童・生徒の育成に努めます。

1 児童・生徒の「生きる力」の育成

(1) 自ら学び、これからの時代に生きて働く力を養う教育の推進

① 各教科における言語活動の充実を基盤とした学び合いの促進

- ・自ら学び、確かな学力をつけるために、これまで培ってきた各教科における言語活動の工夫を柱として学び合いを重視した授業改善が図られるよう努めます。

(重点施策 1-(1)-①)

② 外国語活動、英語科におけるコミュニケーション能力の育成

- ・小学校外国語活動・中学校英語科においては、ALT(外国語指導助手)の活用等を通じて、異文化理解を図り、コミュニケーション能力の育成に努めます。

(重点施策 1(1)-②)

③ 道徳教育ならびに特別活動の充実

- ・道徳の時間においては、生命の尊重、思いやり、規範意識など豊かな人間性を育むための、道徳的心情、判断力、実践意欲と態度等を育てます。
- ・家庭・地域と連携を図り、児童・生徒に手本を示す等、道徳的な実践のできる児童・生徒を育てます。
- ・道徳教育と連携して特別活動を充実させ、より良い集団を自ら作っていく力を育てます。

④ 学校体育の充実

- ・生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育み、健康の保持増進と体力の向上を図ります。

(2) 地域社会とともに生きる力の育成

① 郷土愛の育成

- ・地域の行事への積極的な参加を促し、郷土を愛する気持ちを育てます。
- ・学習活動に地域教材を活用し、地域について学ぶ教育を進めます。

(重点施策 1-(2)-①)

② 地域における児童・生徒の活動の促進

- ・学習協力者、体育・文化活動指導員等の地域教育力による支援を推進します。
 - ・総合的な学習の時間、ボランティア活動、職場体験など、体験学習を生かした教育を推進します。
- (重点施策 1-(2)-①)

③ キャリア教育の充実

- ・キャリア教育の充実を図り、発達段階に応じ、児童・生徒一人ひとりが自己の将来の生き方や進路を主体的に選択できる能力・態度の育成に努めます。また、児童・生徒一人ひとりが勤労観、職業観を身に付け、社会に貢献できる力を育てます。

2 すべての児童・生徒が安心して学べる教育環境の整備

(1) 支援が必要な児童・生徒への対応の充実

① いじめ、不登校、暴力行為等に対応する体制の強化

- ・いじめ、不登校、暴力行為などの問題行動の未然防止・早期発見・早期解決に向けて、各校の児童・生徒指導体制を見直し、児童・生徒理解を着実に進めるとともに、児童・生徒指導担当、教育相談コーディネーター、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育支援室等の相談支援体制の充実を図ります。
 - ・「二宮町いじめ防止基本方針」に基づき、二宮町におけるいじめ対策の総合的かつ効果的な推進を図ります。
 - ・各校のいじめ防止基本方針について随時見直しを図り、その有効な活用を目指します。
- (重点施策 2-(1)-①)

② 支援教育の充実

- ・学校、家庭、関係機関等の連携のもとに支援体制を整え、個々の教育的ニーズを的確に把握し、その持てる能力、個性を伸ばす教育を進めます。
- ・小・中学校へ支援教育補助員を派遣します。外国籍等児童・生徒への日本語指導、ことばの教室(そにつく)等、きめ細かな指導を進めます。

(重点施策 2-(1)-②)

(2) 教職員の指導力の向上

① 「二宮町学びづくり推進研究事業」の推進

- ・基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とともに、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりに努めます。
- ・児童・生徒の学力向上を目指して、校内研究のさらなる充実を図り、授業改善に努めます。
- ・校種を越えて互いに学び合う教員集団の育成に努めます。

(重点施策 2-(2)-①)

② 二宮町教育研究所の充実

- ・学校教育に関する調査研究や各種教職員研修を実施し、教職員の資質向上、指

導力向上を図ります。

- ・教育研究所に配置している教育支援室専任教諭や心理教育相談員により、支援を必要とする児童・生徒やその保護者、関係教職員に対する教育相談等を行います。
- ・教育研究所内の教育支援室（やまびこ）においては、不登校児童・生徒への学習支援や生活支援をより一層進めます。（重点施策 2-(2)-②）

3 将来に向けた特色ある学校づくりの促進

(1) コミュニティ・スクール導入に向けた検討

「地域とともにある学校」をめざすための手法のひとつとして、学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民が参画できる「コミュニティ・スクール」の導入に向け、検討をはじめます。

(2) 「にのみや子どもはぐくみ塾」の開催

新たに教員と保護者、地域の方々が共に学び合う「にのみや子どもはぐくみ塾」を開催し、授業の充実を図るとともに、二宮町の教育について共通理解を深め、今後のコミュニティ・スクール導入の基盤づくりを進めます。

(3) 小中一貫教育導入についての検討

児童・生徒数の減少や多様化する児童・生徒に関する課題などを背景に、不登校やいじめの解消、学力・学習意欲の向上などが期待できる小中一貫教育の導入について、検討します。

4 その他、学校教育における取組み

① 安全教育

- ・「二宮町教育委員会学校防災方針」に基づき、各学校において「防災マニュアル」を適切に運用し、児童・生徒の安全確保に努めます。
- ・防災教育の強化を図り、児童・生徒の危険予知能力や危険回避力など、自己管理能力の育成に努めます。
- ・「二宮町児童生徒安全対策協議会」等を通し、地域や関係機関と連携した安全体制をより一層整備します。
- ・「二宮町通学路交通安全プログラム」に基づき、関係機関が連携して、児童・生徒が安全に通学できるように、通学路の安全確保を図ります。

② 情報教育

- ・高度情報化社会に生きる児童・生徒の情報活用能力と情報社会に参画する態度の育成に努めます。
- ・教職員が、情報機器や学校間ネットワークを活用することにより、校務の効率化や学校間の情報交換・情報共有、安全な情報管理を図ります。また、授業の中での ICT（情報通信技術）活用を促進し、分かりやすい授業、授業力の向上

を目指します。

- ・ SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）によるトラブルやネット依存など情報化社会の進展に伴う新たな課題に対応するため、携帯電話・インターネットに関する安心・安全教室の開催や、家庭への啓発活動の促進等により、情報モラル教育の充実に努めます。

③ 読書指導

- ・ 児童・生徒の読書活動が活性化するように、蔵書数を増やしたり、コンピュータによる貸し出しシステムを活用したりするなど、学校図書館の充実に努めます。
- ・ 学校図書館指導員を配置し、教育活動の中に読書の時間を取り入れるなど、読書習慣がつくよう指導します。

④ 「幼・保・小」、「小・中」の連続性を大切にした指導

- ・ 「幼・保・小連携推進委員会」、「幼・保・小交流会」の充実に努め、学びや育ちの連続性を大切に、幼児教育から学校教育への円滑な接続を図ります。

⑤ 学校施設に関する取組み

- ・ 小・中学校の、安全・安心な施設の整備に努めます。

⑥ 学校給食センターにおける取組み

- ・ 児童・生徒が、栄養バランスのとれた、手作りの心のこもった給食を通して、食の大切さを学ぶ食育の充実に努めます。
- ・ 子どもたちが地域の産業や農産物を身近に感じ興味関心が高まるよう、地産地消を推進していきます。

5 地域に向けた情報発信の強化

- ・ 二宮町ホームページや広報紙、各校の学校だより等を通して、学校行事や特色ある取組み、校内研究など日々の実践について情報を発信し、地域と共にある開かれた学校づくりに努めます。 (重点施策 6-①)

2 社会教育

豊かで活力ある社会を築いていくために、「町民一人ひとりが、生涯いつでもどこでも自由に学習することができ、その成果が適切に評価されるような社会」すなわち、生涯学習社会の実現を目指します。

各種講座や研修会等による学習機会の提供や、ホームページや広報等による学習情報の提供を通じ、学習者自身の学びにとどまらず、地域活動やボランティア活動等に、学んだ成果を還元できる人材づくりを目指します。

現在、都市化、核家族化、少子化の進行など、親や子どもを取り巻く社会の変化の中で、地域や家庭の教育力の低下が課題となっています。このため、町民一人ひとりの人間形成の発達段階に応じた社会教育を推進します。

また、インターネット利用に伴う犯罪被害の増加、児童虐待、薬物依存の低年齢化など新たな課題については、学校や地域社会と連携しながら取り組んでいきます。

図書館においては、「二宮町定住促進行動計画（子育て編）」に基づき、子どもの年齢に合わせた行事や子育て支援関連事業を推進していきます。また、図書館基金を活用し

た図書館資料（図書および DVD）の購入、こどものほんコーナーへの図書の相談員の配置など、図書館資料やサービスの充実を図ります。

運動・スポーツでは、心身の健全な発達を促し、地域に明るく潤いに満ちた連帯感を醸成し、活力に満ちた「二宮町」を創り出すため、子どもから大人まですべての町民が「暮らしの中のスポーツ」を実践することができるよう生涯スポーツの普及振興に努めます。また、運動施設の利用促進、各種スポーツ・レクリエーション等への参加促進、スポーツ教室・大会等の開催を通じて、町民相互の親睦と健康増進に努めます。

1 社会教育

① 人権教育の推進

- ・様々な人権問題に対し、人権意識を育むために人権教育研修会等を開催し啓発を行います。

② 社会全体による子育て

- ・「子育てゼミナール」を開催し、家庭での子育てや教育を見つめ直す機会を設けます。
- ・子どもの居場所づくりとして、平日の放課後に学校施設を利用し「放課後子ども教室」事業を実施します。 （重点施策 4—①）
- ・ものづくりや科学実験等の体験活動の場として、「子どもチャレンジ教室」を実施します。

③ 青少年の健全育成

- ・青少年指導員連絡協議会、PTA 連絡協議会、子ども会育成会連絡協議会との協力・連携により、児童・生徒の地域活動を促進します。また、「二宮町ジュニアリーダー養成研修会」を開催し子どもたちのリーダーの養成を行います。
- ・子どもたちの安全・安心のために、PTA 連絡協議会が行う「こども SOS のいえ」を推進します。
- ・「子ども野外研修」を通じ、子どもたちの生きる力を育みます。また、「中学生交流洋上体験研修」、「青少年交流キャンプ」を実施し、広い視野を持った青少年を育成します。
- ・青少年環境浄化推進員との連携により、「青少年の健全育成キャンペーン」、「有害図書の区分陳列の調査」を実施し、青少年の社会環境浄化に努めます。

④ 社会教育関係団体との連携

- ・民俗芸能保存会連絡協議会、文化団体連盟等の社会教育関係団体との連携を密にし、共催事業の実施、研修会の開催など活動の支援を行います。

⑤ 地域文化の向上

- ・「湘南二宮バーチャル郷土館」の内容をより一層充実します。
- ・「ふたみ記念館」では、町出身の画家二見利節の絵画について、保存・展示に努めるとともに、展示ギャラリーの貸し出しを行うことで、施設の有効活用と地域に根ざした美術館を目指します。
- ・町内の祭囃子や伝統芸能の成果発表である「民俗芸能のつどい」の開催や民俗芸能保存会連絡協議会加盟の 16 団体への支援を通じ、郷土に伝わる伝統芸能の保存に

努め、郷土愛を育みます。

(重点施策 1-(2)-①)

- ・町指定文化財や、貴重な資料などの保存に努めます。
- ・ラディアンホールの誇る「スタインウェイ」ピアノに町民が気軽に演奏し、発表する機会作りのために、「ピアノマラソンコンサート」を開催します。

⑥ 学習機会の整備

- ・生涯学習情報誌「身近な余暇ガイド」の情報収集・更新を行い、学習相談に応えるとともに、「町民大学サポーター制度」の周知・活用を図ります。
- ・生涯学習ボランティアが企画運営する「にのみや町民大学講座」を実施し、町民による町民のための町民大学を推進します。
- ・「にのみや町民大学講座」終了後も学習者が継続して学習できるよう、サークル化に向けた支援を行います。

⑦ 学習環境の整備

- ・ラディアンの空調機やエレベーター等施設の修繕を行います。

2 図書館

① 図書館資料の充実

- ・図書館基金を充当し、図書および視聴覚資料（DVD）の充実を図ります。

(重点施策 5-②)

② 図書館情報の発信

- ・町の文化の発信拠点として、「広報にのみや」、「ホームページ」を活用したり、「図書館だより」を定期的に発行することにより、図書館活動のPRや利用促進を図ります。

③ 小・中学校との連携・読書推進

- ・町立小・中学校図書館担当者と情報交換を行います。また、図書館利用を促進するため、小・中学校へ図書館利用、見学の実施を呼びかけます。
- ・夏休み前に「小・中学生にすすめたい本」リストを作成・配布します。
- ・ティーンズコーナーの充実を図り、中高生の居場所としてのコーナーづくりを検討します。

④ 子育て支援の推進

- ・「ブックスタート事業」（子ども育成課共催）を継続実施します。「あかちゃんがはじめてであう絵本」を配布し図書館利用の促進を図るとともに、子育てに関する図書を集めた「子育て関連図書コーナー」や子育て情報を集積した「子育て情報コーナー」の充実を図ります。

(重点施策 5-①)

- ・子どもの年齢に合わせた行事や子育て支援関連事業を開催します。

⑤ こどものほんコーナーへの図書の相談員の配置

- ・学校の夏季休暇期間など、調べ学習での利用が多くなる時期に「こどものほんコーナー」に図書の相談員を配置し、児童・生徒の調べ学習の支援、読書相談を行います。

(重点施策 5-③)

⑥ 蔵書検索システムの活用

- ・「インターネットの蔵書検索システム」、「県内図書館の相互貸借システム」を活用

し、予約・リクエスト等資料の迅速な提供に努めます。

⑦地域資料・行政資料の収集・保存

・二宮に関する資料や行政資料を収集・保存し、町に関する情報を町民がいつでも閲覧できるように整備します。

⑧ 図書館資料の活用と蔵書の管理

・所蔵資料がさらに活用されるよう、書庫の本の紹介や時事に沿った展示コーナーで積極的に資料の紹介を行います。また、蔵書管理の徹底を図ります。

⑨ 町民参加の図書館運営

・町民のボランティア参加により、図書館運営及びサービスの向上を目指します。
(録音図書ボランティア、修理ボランティア、書架整理ボランティア)

3 生涯スポーツ

① 町民参加による大会の実施

・「町内一周継走大会」を実施し、体育協会主管のもと地域住民と青少年の交流親睦の充実を図り、住民参加を進めます。
・中学生を対象とした「少年少女ソフトバレーボール大会」を実施し、各地区の住民参加を得て、ふれあいによるスポーツ精神の高揚を図ります。
・多くの町民が参加できる「二宮町体育祭」を開催し、町民へのスポーツ・レクリエーションの普及を図ると共に、地域の人たちのスポーツを通じたふれあいによる地域同士の連帯感を育てます。

② 暮らしの中の運動・スポーツの推進

・「にのみやウォーキング・ジョギングガイド」を活用し、運動・スポーツの習慣をつける環境づくりを推進します。
・「3033運動」(1日30分、週3回、3ヶ月間)の推進に努めます。
・「県民スポーツ週間」には施設の無料開放をするなど、暮らしに運動やスポーツを取り入れる機会を確保します。

③ 関係施設・設備

・山西プール浄化槽放流ポンプ及び循環浄化装置集毛器交換工事を行います。

4 地域に向けた情報発信の強化

・町民が等しく生涯学習の機会を得られるよう、二宮町ホームページや広報紙等を通じて、また、社会教育関係団体、社会教育施設利用者等、人と人のネットワークを通じて、学習・文化、スポーツ等の情報を積極的に発信していきます。

(重点施策 6-①)

教育委員会について

二宮町教育委員会は、教育長及び 4 名の教育委員で構成され、教育委員会議において教育に関する規則の制定や重要な事項を審議決定しています。

二宮町教育委員会（平成 29 年 3 月 31 日現在）

職 名	委員名	任 期
教育長	ふかわ よういち 府川 陽一	平成 27 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日
教育長 職務代理者	やまのうち 山内 みどり	平成 25 年 12 月 23 日 ～ 平成 29 年 12 月 22 日
委 員	よしだ みかこ 吉田 美佳子	平成 26 年 10 月 1 日 ～ 平成 30 年 9 月 30 日
委 員	はら みちこ 原 道子	平成 27 年 10 月 1 日 ～ 平成 31 年 9 月 30 日
委 員	おかの としひこ 岡野 敏彦	平成 28 年 10 月 1 日 ～ 平成 32 年 9 月 30 日

第1章 教育委員会の活動状況について

1 教育委員会議の運営状況（平成28年度）

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備 考
平成28年 4月22日	<p><報告・協議事項></p> <p>(1) 女性活躍推進法について</p> <p>(2) 二宮町いじめ問題対策連絡協議会設置要綱について</p> <p>(3) 県市町村教育委員連合会役員会報告について</p> <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>コミュニティ・スクールの認識が広まっていないと思います。コミュニティ・スクールとは何かということ自体がまだ地域の方には伝わっていないと思います。今現在の状況でもいいと思いますので、よりアピールをしていただきたいと思います。</p>		<p><傍聴3名></p> <p>(回答事項)</p> <p>コミュニティ・スクールについては、2年間かけて学校の先生方が取り組めるような環境づくりを行い、地域参加型の学校づくりを行えるようにしたいと考えています。町民の方に対して、コミュニティ・スクールとは何かということ、教育委員会で説明をしたいと考えています。学校評議員の方の理解も必要なので、何回か足を運んで理解いただけるように努めたいと思います。</p>
平成28年 5月20日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度二宮町立小学校及び中学校で使用する教科用図書採択方針について <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度小・中学校学級編制及び児童生徒数について ・第1回及び第2回「にのみや 子ども はぐくみ塾」開催状況報告について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>初任者研修はどのようなことをしたのでしょうか。</p>	原案可決	<p><傍聴1名></p> <p>(回答事項)</p> <p>前半30分は、教職とは何かというような話を教育長からしました。後半1時間で教科書読解についてや、アイスブレイクや仲間づくり、子どもたちをよく見て授業を進めるようにしようという話をしました。</p>

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
平成 28 年 6 月 24 日	<p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度二宮育英会奨学生の選考結果等について【非公開】 ・二宮町就学援助費交付要綱改正について ・コミュニティ・スクールを導入するにあたっての基本的な考え方 ・一色小学校コミュニティ・スクール準備委員会設置要綱について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>野外研修についてですが、二宮小学校は参加人数が減っていますが、一色小学校・山西小学校は増えています。2泊3日から1泊2日にしたので、増えているのではないかと思います。</p>		<p><傍聴1名></p> <p>(回答事項)</p> <p>従来の2泊3日だと、子ども会の役員の負担が大きかったので、1泊2日にしてよかったという意見も聞かれました。保護者の負担軽減の為に、1泊2日で続けていきたいと思います。一色小学校や山西小学校も来年度以降学校でもキャンプを行う予定となっていますので、その結果を受けて、野外キャンプについても考えていく必要があると思います。</p>

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
平成 28 年 7 月 29 日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度小学校使用教科用図書採択について ・平成 29 年度中学校使用教科用図書採択について ・平成 29 年度小・中学校使用学校教育法附則第 9 条による教科用図書採択について <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度学校給食費会計報告について ・「夏休みは図書館へ行こう！」について ・第 26 回ガラスのうさぎ像平和と友情のつどいについて <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>水泳教室は、今年は温水プールを使ったとのことでしたが、どうだったのでしょうか。</p>	<p>原案可決 原案可決 原案可決</p>	<p><傍聴 3 名></p> <p>(回答事項)</p> <p>6 月から 7 月 8 日まで水泳教室を行いました。二宮西中学校はそのまま山西プールを使い、山西小学校は一部山西プールを使いながら、温水プールを使用しました。その他の学校は温水プールを使用しました。各学校、3 回ずつ行うことが出来ました。マイクロバスを借上げて、温水プールまで行きました。最初は、バスに乗り込むのに手間取ってしまいましたが、概ね順調に行うことが出来ました。今年の 6 月は雨の日もありましたので、効果はあったと思います。</p>

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
平成 28 年 8 月 26 日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度二宮町一般会計補正予算（案）について【非公開】 <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 二宮町教育委員会点検及び評価報告書(案)について 図書館協議会勉強会報告について 第4回「にのみや 子ども はぐくみ塾」開催状況報告について 教育支援室教育相談活動について【非公開】 二宮町体育祭について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>少年少女ソフトバレーボール大会についてですが、今年が最後ということで、今後の競技については、スポーツ推進委員が検討しているとのことですが、生涯学習課はどのように係わっていくのでしょうか。</p>	原案可決	<p><傍聴3名></p> <p>(回答事項)</p> <p>スポーツ推進委員連絡協議会については、生涯学習課の職員も参加しています。今後のイベントについてですが、バウンスポールというニュースポーツを進めていこうという話があります。スポーツ推進委員の自主事業ではありませんが、情報発信についてなど、職員も色々な形でサポートをしていこうと考えています。</p>
平成 28 年 9 月 30 日	<p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度二宮町教育委員会点検及び評価報告書（案）について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>二宮西中学校で行われた防災訓練についてですが、たくさんの人が集まったそうですが、どのような人たちが集まったのか教えていただきたいです。</p>		<p><傍聴1名></p> <p>(回答事項)</p> <p>二宮西中学校の防災訓練ですが、二宮西中学校では、年に1回地区懇談会をこの時期にいつも行っていて、5時間目の授業を参観していただき、その後懇談会を行っていました。今回はその懇談会の中で防災訓練を行いました。防災訓練に参加していただいたのは、自治会の役員さんと保護者の皆さんです。</p>

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
平成 28 年 10 月 28 日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度二宮町公立学校教職員人事異動方針(案)について ・平成 28 年度二宮町教育委員会表彰被表彰者の選考について【非公開】 ・二宮町社会教育委員の委嘱について【非公開】 ・二宮町生涯学習センター運営審議会委員の委嘱について【非公開】 ・全国学力・学習状況調査の結果について【非公開】 <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種委員会委員について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>コミュニティ・スクールは、言葉だけが唐突に出てきたような印象を皆さんは持っていると思います。「学校へ行こう週間」は、保護者や地域に学校をオープンにする仕組み、「コミュニティ・スクール」はそれをもう一步進めて、保護者や地域の方に学校の経営に参画してもらう仕組みだということを、分かりやすく周知する必要があると思います。</p>	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p>	<p><傍聴 5 名></p> <p>(回答事項)</p> <p>地域再生という大きな国のプロジェクトがあり、二宮町でも高齢化が進んでいる一色小学校区の地域を活性化しようという地域主催の事業があります。そこに、教育委員会も地域と連携して、地域の人にも学校の運営に参加して欲しいという思いから、コミュニティ・スクール導入の検討を行いました。コミュニティ・スクール準備委員会は 1 回目の会議を行いました。これから 2 年間かけて活動を行っていく予定です。2 回目の準備委員会では、町民に向けての広報活動についても考えていきたいと思ひます。</p>

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
平成 28 年 11 月 25 日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度二宮町教育委員会点検及び評価報告書(案)について ・平成28年度二宮町教育委員会表彰被表彰者の選考について【非公開】 ・平成28年度二宮町一般会計補正予算(案)について【非公開】 ・教育委員会事務局職員人事について【非公開】 <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度二宮町教育委員会当初予算要求について【非公開】 ・二宮町立小中学校に小中一貫教育校の導入を検討するにあたっての基本的な考え方(素案) ・第 5 回「にのみや 子ども はぐくみ塾」開催状況報告について ・二宮町・町内一周継走大会について ・平成 28 年度神奈川県市長村教育委員会連合会研修会の結果報告について ・「ともに生きる社会かながわ憲章」について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>第 2 回一色小学校コミュニティ・スクール準備委員会についてですが、まだ町民への周知が不十分のよう感じたので、PTAなどに対しても、もっとPRしていかなければいけないと感じました。</p>	原案可決 原案可決 原案可決 原案可決	<p><傍聴 1 名></p> <p>(回答事項)</p> <p>地域の人と人との関係が希薄になっている中で、学校が地域の中心となつて、もう一度今の時代にあった地域のつながりを作っていこうというものです。発信の仕方も難しく、地域にすぐに浸透して、実現出来るものではないと思います。PTAと何が違うのかというと、地域が関わっていることで、保護者同士のつながり、子どもが大きくなるにつれて希薄になっていかないように、学校という場所が、地域再生の中心になっていけたらと考えています。</p>
平成 28 年 12 月 22 日	<p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・11 月 29 日の給食献立のドライカレー中止について ・新春のつどい、自治功労、教育委員会表彰式について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>二宮町立学校教職員安全衛生委員会では、産業医と校長先生と話し合いをしたということですが、二宮町ではどんな指摘があったのでしょうか。</p>		<p><傍聴 4 名></p> <p>(回答事項)</p> <p>夏に実施した教職員健康診断の結果もしくは、人間ドックの結果を受けて、産業医の住田先生に見ていただきました。139 人のうち、36 人の方が何もなしで、103 人に何かしらの所見がありました。しかし、他の業種と比べて特に多いということはないということです。BMI や肝機能の異常が多かったようです。</p>

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
平成 29 年 1 月 27 日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・二宮町立小中学校に小中一貫教育校の導入を検討するにあたっての基本的な考え方(案)について <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度二宮町教育委員会基本方針(素案)について ・コミュニティ・スクール導入促進事業の状況報告について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>いじめの現状については、現在どれぐらいの件数があるのでしょうか。</p>		<p><傍聴 3 名></p> <p>(回答事項)</p> <p>いじめの認知件数は増えているのが現状です。以前に比べて少しでも嫌な思いをしたものはいじめの可能性があると細かいことまで報告されるようになってきているので、認知件数だけ見ると増えています。内容を見ると、注意する言葉がきつくて嫌な思いをしたなどというものも含まれています。子どもたち自身の取り組みで、生徒会や児童会でいじめをなくそうという取り組みを行っている学校もありますので、とてもいい傾向だと思います。</p>
平成 29 年 2 月 17 日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度二宮町一般会計補正予算(案)について【非公開】 ・平成 28 年度二宮町予算(案)について【非公開】 ・平成 28 年度二宮町教育委員会基本方針(案)について ・二宮町ふたみ記念館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則(案)について <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止対策を推進するための申し合わせ事項について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>小中校長会がありましたが、コミュニティ・スクールに対する校長先生たちの反応はどうだったのでしょうか。</p>	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p>	<p><傍聴 1 名></p> <p>(回答事項)</p> <p>校長先生たちはおおむね前向きだという印象を受けました。2 年間準備期間があるので、その間に学校の要望をきちんと聞いていきたいと思っています。</p>

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
平成 29 年 3 月 24 日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・二宮町教育委員会傍聴人規則の一部を改正する規則（案）について ・二宮町教育委員会関係職員の職の設置に関する規則の一部を改正する規則（案）について ・二宮町スポーツ推進委員の委嘱について【非公開】 ・教職員等人事について【非公開】 ・教育委員会事務局職員等人事について【非公開】 <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長職務代理者の指名について ・各種委員会委員等の選任について ・平成29年度教科用図書採択について ・二宮町教育支援委員会設置要綱の制定について ・二宮町生涯学習センター防犯カメラ運用要綱の改正について ・二宮町民温水プール防犯カメラ運用要綱の改正について ・二宮町英語検定奨励金交付要綱の一部を改正する要綱について ・二宮町スクール・ガードリーダー設置要綱の廃止について ・教育相談・教育支援室活動の状況について【非公開】 ・辞令交付式について【非公開】 ・二宮小学校成績処理誤記載について ・全国学力・学習状況調査結果について ・第 6 回「にのみや 子ども はぐくみ塾」開催状況報告について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>体罰調査について、行き過ぎた指導というのはどのようなものだったのでしょうか。</p>	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p>	<p><傍聴 1 名></p> <p>(回答事項)</p> <p>先生の方を向かせるのに、手を使って顔の方向を変えたり、言葉がきついななどということがありました。それぞれ行き過ぎた指導については、謝罪をしております。子どもへの影響としては、子どもと話し合いの機会を持ち、先生が謝罪したことによって安心したということです。</p>

2 学校訪問

<訪問内容>

①「教育方針」「学校教育推進に伴う課題・問題（施設の維持・危機管理・サービスなど）」について説明、検討を行った。

②具体的な教育活動（児童生徒指導の実情と問題点）や学校研究の特色などについて検討を行った。

<学校訪問の状況>

訪問日	場 所
平成 28 年 6 月 24 日	二宮町立一色小学校
平成 28 年 10 月 21 日	二宮町立二宮中学校
平成 28 年 10 月 28 日	二宮町立二宮西中学校
平成 29 年 1 月 27 日	二宮町立二宮小学校
平成 29 年 3 月 1 日	二宮町立山西小学校

3 研修会

平成 28 年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会（5 月 29 日開催・東京都八王子市）、神奈川県市町村教育委員会連合会研修会（11 月 17 日開催・大和市）に出席して、研鑽を積んだ。

4 その他の活動状況

①町の各種委員会委員への選任及び開催状況

委員会の名称	委員名	委員会開催日
都市計画審議会	原 道子	平成 28 年 8 月 23 日
男女共同参画プラン推進連絡会	山内 みどり	未開催
学校給食センター運営委員会	吉田 美佳子	平成 28 年 6 月 28 日、 平成 29 年 2 月 22 日
二宮育英会	山内 みどり	平成 28 年 6 月 21 日
子ども野外研修実行委員会	吉田 美佳子	平成 28 年 4 月 13 日、6 月 17 日、 7 月 19 日、10 月 19 日

②小・中学校や教育委員会関係行事への参加状況

開催日	行事名
平成 28 年 4 月 1 日	教職員辞令交付式
4 月 5 日	小・中学校入学式
5 月 19 日	第 1 回総合教育会議
5 月 14 日	体育祭（二宮西中学校）
5 月 21 日	体育祭（二宮中学校）
5 月 28 日	運動会（二宮小学校）
5 月 28 日	運動会（一色小学校）
7 月 23 日	子ども野外研修（丹沢湖ロッヂ）
7 月 30 日	ソフトバレーボール大会
8 月 26 日	第 2 回総合教育会議
10 月 2 日	二宮町体育祭
10 月 8 日	運動会（山西小学校）
10 月 15 日	文化祭（二宮中学校、二宮西中学校）
10 月 23 日	二宮町民俗芸能のつどい
12 月 11 日	二宮町町内一周継走大会
平成 29 年 1 月 5 日	教育委員会表彰・教育長表彰式（二宮町新春のつどい）
1 月 9 日	成人祝賀会
2 月 17 日	第 3 回総合教育会議
3 月 10 日	中学校卒業式
3 月 17 日	小学校卒業式
3 月 31 日	教職員等転退職者辞令交付式

5 教育委員会議の公開

二宮町教育委員会議規則第 16 条に基づき、会議は教育長の許可を得て傍聴することができるとしている。

平成 28 年度は、27 名の傍聴人があった。

6 教育委員会の活動状況 点検評価

※「別紙 1 教育委員会の活動状況 点検評価シート」に記載（P 20～P 21）

別紙1 教育委員会の活動状況 点検評価シート

項目	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
教育委員会議の実施状況	1 開催回数 13回 (定例会 12回) (臨時会 1回) 2 議案件数 36件 3 請願件数 1件 4 選挙 0件 5 傍聴 36名	1 開催回数 12回 (定例会 12回) (臨時会 0回) 2 議案件数 24件 3 請願件数 0件 4 選挙 0件 5 傍聴 27名
成果・課題	評価・所見	
<p>平成 28 年度二宮町教育委員会基本方針を念頭に置き、議案 24 件を審議した。また、各定例会においては教育長報告として各所管課から実績報告や事業予定の説明を受け、内容の確認を行った。</p> <p>なお、会議傍聴について町部局と足並みを揃え規則の改正を行い、適正な会議運営に努めた。</p> <p>今後も、二宮町の教育の良い点をさらに伸ばし、子どもたちの生きる力を育成し、質の高い教育を受けることが出来るよう、教育や学習の環境を整えていくための活動を引き続き行っていく。</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <p style="text-align: right;">(前年度評価：B)</p> <p>教育委員会議では活発な意見交換を行っていて概ね適正に取り組んでいるが、引き続き討議が必要である。</p> <p>教育委員会議は、二宮町教育委員会議規則第 16 条に基づき、教育長の許可を得て傍聴することが出来るとされている。平成 28 年度の傍聴者数は、中学校の教科書採択年であった前年に比べ減少している。教科書採択以外でも引き続き開かれた会議運営を進めていく必要があることから、評価を B とした。</p>	

項目	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
学校訪問等の活動	1 学校訪問 町立小中学校 5 校訪問 2 各種研修会 1 回参加 3 その他の活動 学校教育・生涯学習関連 各種行事に参加	1 学校訪問 町立小中学校 5 校訪問 2 各種研修会 2 回参加 3 その他の活動 学校教育・生涯学習関連 各種行事に参加
成果・課題	評価・所見	
<p>学校訪問では、各学校の教育方針や学校経営の実情をもとに、学校教育推進上の諸課題について話し合い、これからの学校教育の推進を図るため、各学級の授業参観及び学校施設の状況を視察した。今後も引き続き実施し、学校現場の協力を得ながら、二宮町の教育の質の向上を図るべく、積極的に学校を訪問し、意見交換を行っていく。</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <p style="text-align: right;">(前年度評価：B)</p> <p>学校訪問を積極的に行い、教育行政全般に目を向けた幅広い視野を持てるよう努めている。</p> <p>今後も様々な研修会に積極的に参加し委員としての研鑽を積む必要があることから、評価をBとした。</p>	

第2章 教育委員会における主要事業

1 教育総務課の主な事業

●学校教育の重点施策

重点施策			頁
1 児童・生徒の「生きる力」の育成	(1)自ら学ぶ力を養うための教育の推進	①言語活動の充実を基盤とした学び合いの促進 ②コミュニケーション能力の育成	24
	(2)地域社会とともに生きる力の育成	①児童・生徒の地域活動への参加促進 ②体験活動の充実	25
2 すべての児童・生徒が安心して学べる教育環境の整備	(1)支援が必要な児童・生徒への対応の充実	①いじめ、不登校、ひきこもり等に対する体制の強化 ②支援教育の充実	26
	(2)教職員の指導力の向上	①「二宮町学びづくり推進研究事業」の推進 ②教育研究所における研修ならびに調査研究の充実	27
3 将来に向けた特色ある学校づくりの推進	(1)コミュニティ・スクール導入に向けた検討		28
	(2)小中一貫教育導入についての検討		

●学校教育のその他の事業

・<学校給食センターにおける取り組み>・児童生徒の食育の推進

・安全安心でおいしい給食の提供

29

2 生涯学習課の主な事業

●社会教育の重点施策

重点施策			頁
1 児童・生徒の「生きる力」の育成	(2)地域社会とともに生きる力の育成	①児童・生徒の地域活動への参加促進	30
4 社会全体による子育て		① 放課後子ども教室の実施	31
5 図書館の充実		① 子育て世代が魅力を感じる図書館づくり	32
		② 図書館資料の充実	33
		③ 図書館サービスの充実	34

●社会教育のその他の事業

・<社会体育について> 温水プールでの各種水泳教室 ⇒ 28年度より町健康づくり課へ

35

・<社会体育について> 関係施設・整備

36

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート (教育総務課)

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
<p>重点施策</p> <p>1 児童・生徒の「生きる力」の育成 (1) 自ら学ぶ力を養うための教育の推進</p> <p>①言語活動の充実を基盤とした学び合いの促進</p> <p>②コミュニケーション能力の育成</p> <p>(教育総務課 指導班)</p>	<p>① 二宮町学びづくり研究推進事業において、各校で言語活動の充実を図った。</p> <p>② 各校にALTを配置し、英語を通じてコミュニケーション能力の育成を図った。</p> <p>ALT年間配置日数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3校248日 ・中学校2校118日 <p>英語検定奨励金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英検受験者数104名 ・英検受験率42.6% ・奨励金支給額285,200円 		<p>① さまざまな教科においてグループ活動を取り入れるなど、各校で言語活動を意識した授業展開に努めた。</p> <p>②引き続き各校にALTを配置し、英語を通じてコミュニケーション能力の育成を図った。</p> <p>ALTの年間配置日数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3校237日 ・中学校2校126日 <p>英語検定奨励金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英検受験者数75名 ・英検受験率32.1% ・奨励金支給額 207,200円 	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	9,771,000	9,531,923	9,662,000	9,471,851
成果・課題		評価・所見		
<p>グループや学級全体の中で自分の意見を発表して意見交換を行い、課題の解決を図る学び合いの授業スタイルがより一層定着してきた。</p> <p>ALTは授業以外の学校行事等にも積極的に参加しており、児童生徒の国際理解とコミュニケーション能力の育成に尽力している。新学習指導要領の施行を見据え、今後ALTの活用を含め、英語教育のあり方を検討する必要がある。</p> <p>英検受験率は前年度よりも減となった。</p>		<p style="text-align: center;">B</p> <p style="text-align: right;">(前年度評価：B)</p> <p>全国学力・学習状況調査において「授業で児童・生徒の間でよく話し合う」と答えた児童生徒の割合は高く、学び合いの授業スタイルは児童生徒にも浸透し、コミュニケーション能力の育成に好影響を与えていると思われる。</p> <p>英語検定奨励金に関しては、受験勸奨の方法に課題を残したことから、評価はBとした。</p>		

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
重点施策 1 児童・生徒の「生きる力」の育成 (2) 地域社会とともに生きる力の育成 ①児童・生徒の地域活動への参加促進 ② 体験活動の充実 (教育総務課 指導班)	①中学生に町防災訓練などの地域活動への参加を呼びかけた。また、地域教育力推進事業として、体育・文化活動指導員のべ10名6団体、学習協力者のべ16名9団体にご協力いただいた。 ②児童生徒の発達段階に応じて福祉体験、職場体験等を実施した。		①二宮西中学校では、地区と協力して避難所開設訓練を実施し、地域活動を体験した。 体育・文化活動指導員 11名6団体 学習協力者 23名12団体 ②地域の協力を得て、各校において福祉体験、職場体験等を実施した。また、二宮小学校では、5年生が宿泊による野外体験活動を行った。	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	1,922,000	1,794,141	1,902,000	1,840,660
成果・課題		評価・所見		
<p>中学生には地区の防災訓練への参加を呼びかけてきたが、各地区では、どのように中学生の力を活用すればいいのか戸惑いもあった。二宮西中学校での避難所開設訓練は、その解決の糸口となる活動となった。</p> <p>二宮小学校での実施を受けて、他の2校でも、平成29年度より野外体験活動を行う予定である。</p> <p>地域教育力活用事業では、地域の協力により、各種体験活動を円滑に行うことができた。</p>		<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: right;">(前年度評価：B)</p> <p>各校において、地域とのつながりを大切にした教育活動が展開されており、良好な協力関係を築けていることから、評価はAとした。</p> <p>今後のコミュニティ・スクール導入を想定して、今までの取組を一步進め、各校と地域とで新たな協力関係を構築する必要がある。</p>		

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
重点施策 2 すべての児童・生徒が安心して学べる教育環境の整備 (1) 支援が必要な児童・生徒への対応の充実 ①いじめ、不登校、ひきこもり等に対する体制の強化 ③ 支援教育の充実 (教育総務課 指導班)	①町費によるスクールソーシャルワーカー（SSW）を配置し、相談支援体制を強化した。 ・町費SSW配置時間のべ86日 384時間 また、「二宮町いじめ防止基本方針」を策定し、「二宮町いじめ問題対策連絡協議会設置要綱」を整備した。 ②特別支援学級の学級数増に対応し、支援教育補助員を増員した。 ・支援教育補助員人数 3校のべ20名 ・日本語指導員人数 4校のべ7名		①町費SSWを2名に増員し、主に中学校において解決が難しくなっている不登校等のケースに関わってもらった。心理教育相談員、SSWからの専門的な助言を得て、学校の児童生徒支援体制を強化した。 ・町費SSW配置時間のべ98日 576時間 ②中学校にも支援教育補助員を配置し、特別支援学級において学校生活の支援を行った。 ・支援教育補助員人数 5校のべ23名 ・日本語指導員人数 4校のべ9名	
	現計予算額（円）	決算額（円）	現計予算額（円）	決算額（円）
	21,578,000	21,110,211	24,086,000	23,084,753
成果・課題		評価・所見		
SSWを増員し、より多角的な視点で児童生徒とその家庭のかかえる課題に検討を加えることができるようになった。SSWが各校の支援体制にどのように関わっていくのか、今後も検討を続けていく必要である。 中学校の特別支援学級にも支援教育補助員を配置したことで、教科担任制の中学校において、1日の学習活動の連続性に、より一層の配慮を行うことができるようになった。		B (前年度評価：B) 中学校にも支援教育補助員を配置するなど、限られた予算の中で支援教育補助員を効果的に配置し、支援体制の充実を図ることができた。 一方、教育相談事業において学校、心理教育相談員、SSW、教育支援室、関係機関、町教育委員会等、さまざまな機関をコーディネートしていく手法については課題が残ったため、評価はBとした。		

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
<p>重点施策</p> <p>2 すべての児童・生徒が安心して学べる教育環境の整備 (2) 教職員の指導力の向上</p> <p>① 「二宮町学びづくり推進研究事業」の推進</p> <p>④ 教育研究所における研修ならびに調査研究の充実</p> <p>(教育総務課 指導班)</p>	<p>① 二宮町学びづくり推進研究事業補助金を支給した。各校において外部講師を招聘し、年間を通して研究サイクル全般にわたり指導を受けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金支給額 5校 389,883円 ・ 教職員研修会 1回開催 ・ 学びづくり通信発行年5回 <p>② 教育研究所に教職経験のある非常勤の指導員を配置し、若手教員の指導、学力学習状況調査の分析等研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究所指導員配置日数 14日×12か月＝168日 		<p>① 前年度に引き続き、各校で「二宮町学びづくり推進研究事業」による校内研究に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金支給額 5校 400,000円 ・ 教職員研修会 1回開催 ・ 学びづくり通信発行年3回 <p>② 前年度に引き続き教育研究所に非常勤の指導員を配置し、新採用や臨時的任用等の若手教員の指導、学力学習状況調査の分析等研究を行った。また、児童生徒数の推計等、将来の学校のあり方を考えるための基礎資料の作成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究所指導員配置日数 14日×12か月＝168日 	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	2,160,000	2,109,023	2,242,000	2,159,050
成果・課題		評価・所見		
<p>二宮町学びづくり推進研究事業は2年目を迎え、各校の研究サイクルが確立された。また、校種をこえて他校の授業を参観するなど、小中一貫教育の研究・検討にもつながる有意義な活動に結び付けることができた。</p> <p>教育研究所では、教職経験豊富な指導員が、若手教員等に対して、示唆に富んだ指導を行っている。</p>		<p>A</p> <p>(前年度評価：A)</p> <p>年間を通じて同一の講師に指導を仰ぐことができることから、各校から学びづくり推進研究事業の存続を求める声が多い。また、教育研究所は人材育成や町の今後の教育のあり方について有意義な研究を行っている。以上の理由から、評価はAとした。</p>		

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
<p>重点施策</p> <p>3 将来に向けた特色ある学校づくりの推進 (1) コミュニティ・スクール導入に向けた検討 (2) 小中一貫教育導入についての検討</p> <p>(教育総務課 指導班)</p>	平成 28 年度新規事業のため、前年度実績等なし。		(1) 県から 2/3 の事業費補助を受け、一色小学校のコミュニティ・スクール指定に向けた研究を行った。一色小学校コミュニティ・スクール準備委員会を年 4 回開催し、先進事例の視察、小学校教員や P T A、地域住民を対象に研修会を 2 回実施した。 (2) 「二宮町立小中学校に小中一貫教育校の導入を検討するにあたっての基本的な考え方」を策定し、小中一貫教育について教育委員会における考え方、方向性を整理した。	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	-	-	202,000	131,673
成果・課題			評価・所見	
一色小学校コミュニティ・スクール準備委員会では、平成 30 年度の指定を見据え、情報共有と平成 29 年度の活動内容の検討が順調に進められた。一般町民へは、町広報紙への記事掲載、一色小学校区への回覧等で周知に努めた。 小中一貫教育校の導入検討は、今後の児童生徒数の予測等を考えると、避けては通れない課題である。			<p>B</p> <p>(前年度評価：－)</p> <p>“開かれた学校”から一歩進んで“地域とともにある学校”とするために、コミュニティ・スクール化は有効な手段であるが、地域住民の理解と参画を得るために、より一層の情報提供が必要であるため、評価は B とした。</p> <p>また、小中一貫教育校の検討についても、児童生徒の学習活動と施設の再配置等を含めた諸条件との最適解を導き出すために、慎重な検討と議論が必要である。</p>	

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
<p>主たる取り組み</p> <p><その他、学校教育における取り組み></p> <p>⑥学校給食センターにおける取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の食育の推進 ・安全安心でおいしい給食の提供 <p>(教育総務課 教育総務班)</p>	<p>・前年度に引き続き、町立小中学校の児童生徒に、安心・安全でおいしい給食を提供している。</p> <p>平成 27 年度稼働日数 188 日</p> <p>平成 27 年度提供食数 (1 日あたり) 2,203 食 (平成 27 年 5 月 1 日時点)</p> <p>栄養士学校訪問回数 12 回(うち、栄養教諭の訪問回数 6 回)</p> <p>・「学校給食センター異物混入対応に関するガイドライン」を策定。</p>		<p>・引き続き、町立小中学校の児童生徒に、安心・安全でおいしい給食を提供している。</p> <p>平成 28 年度稼働日数 190 日</p> <p>平成 28 年度提供食数 (1 日あたり) 2,174 食 (平成 28 年 5 月 1 日時点)</p> <p>栄養士学校訪問回数 13 回(うち、栄養教諭の訪問回数 6 回)</p> <p>・「学校給食センター異物混入対応に関するガイドライン」を改訂。</p>	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	75,020,000	69,177,687	75,860,000	73,115,620
成果・課題		評価・所見		
<p>安心・安全でおいしい給食を提供するとともに、栄養士が学校を訪問し、児童生徒の食育にも取り組んでいる。</p> <p>また、前年度に策定した「学校給食センター異物混入対応に関するガイドライン」をもとに、引き続き異物混入対策に取り組んだ。</p> <p>給食食材の放射能検査については、県の「安全・安心のための学校給食環境整備事業」を活用し、検査を実施してきたが、平成 28 年度末をもって本事業が休止された。今後は、状況の変化など必要に応じて実施していく。</p> <p>給食施設設備については、定期的な点検など維持管理に努めているが、配送車については、購入後 10 年を経過する中で、老朽化が進行しているため更新について今後、検討していく必要がある。</p>		<p>A (前年度評価: B)</p> <p>児童生徒への食育については、学校と連携しながら今後も様々な形で取り組んでいきたい。</p> <p>異物混入対応については、引き続き給食センターをはじめ、関係者が常に異物混入に対する意識を高く持たなければならない。</p> <p>安心・安全でおいしい給食を提供するため、ソフトウェア、ハードウェア両面において、適正な維持管理及び改善に取り組んでいることから、評価を A とした。</p>		

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート (生涯学習課)

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
重点施策 1 「生きる力」の育成 (2) 地域社会とともに生きる力の育成 ①児童・生徒の地域活動への参加促進 (生涯学習課 生涯学習班)	第41回民俗芸能のつどい 平成27年10月25日(日) 参加人数 463人(内子ども259人) 伝統芸能 3団体 祭囃子 12団体 招待芸能 2団体 招待芸能として、地域間交流を行っている長野県高山村から信州高山赤和伎楽会が参加した。		第42回民俗芸能のつどい 平成28年10月23日(日) 参加人数 415人(内子ども253人) 伝統芸能 3団体 祭囃子 12団体 招待芸能 2団体 招待芸能として、南足柄市の足柄ばやし保存会が参加した。	
	現計予算額(円)	決算額(円)	現計予算額(円)	決算額(円)
	149,000	148,383	149,000	148,117
成果・課題	評価・所見			
町民俗芸能保存会連絡協議会との共催で例年行っている事業で、町内の民俗芸能団体が一同に会し、日頃の成果を披露し、活動をPRする場として、また、団体相互の交流や連携の場として一定の成果をあげている。	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: right;">(前年度評価：A)</p> 民俗芸能団体の成果発表の場として、また、町の伝統文化を多くの方に知っていただく場として一定の成果があることからAとした。 将来を担う子どもたちに伝統文化を継承していくためにも、継続した開催が必要である。			

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
重点施策 4 社会全体による子育て ①放課後子ども教室の実施 (生涯学習課 生涯学習班)	放課後子ども教室の実施 二宮小 登録数 82 人 ①11月9日(月) 70人 ②11月16日(月) 70人 ③11月30日(月) 72人 ④12月7日(月) 72人 一色小 登録数 33人 ①9月7日(月) 30人 ②9月14日(月) 27人 ③9月28日(月) 29人 ④10月5日(月) 29人 山西小 登録数 50人 ①6月19日(金) 48人 ②7月11日(金) 48人 ③7月3日(金) 47人 ④7月10日(金) 46人		放課後子ども教室の実施 二宮小 登録数 96人 ① 11月7日(月) 79人 ② 11月14日(月) 中止 ③ 11月21日(月) 82人 ④ 11月28日(月) 82人 一色小 登録数 38人 ① 6月13日(月) 35人 ② 6月20日(月) 35人 ③ 6月27日(月) 37人 ④ 7月11日(月) 38人 山西小 登録数 30人 ① 9月16日(金) 23人 ② 9月23日(金) 28人 ③ 9月30日(金) 29人 ④ 10月14日(金) 30人	
	現計予算額(円)	決算額(円)	現計予算額(円)	決算額(円)
	368,000	333,913	370,000	322,516
成果・課題	評価・所見			
<p>平成26年度より、運営協力として、子どもの見守りや遊びの指導を行う放課後子ども教室サポーターを募り、小学校の体育館を会場として実施している。</p> <p>平成27年度と同規模の実施だが、3年目ということもあり、各学校の実施日を集中して実施することにより、子ども同士、サポーターとも打ち解けた雰囲気の中で実施ができた。</p> <p>放課後子ども教室は、放課後の安全な居場所づくりを確保するとともに、地域力によって進めることができないか推進体制を検討していく。</p>	<p>B</p> <p>(前年度評価：B)</p> <p>事業内容自体は児童にとっては好評であり、一定の成果があったとみられるが、サポーターの確保や実施回数、運営方法など課題について検討が必要である。</p>			

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
重点施策 5 図書館の充実 ①子育て世代が魅力を感じる図書館づくり (生涯学習課 図書館班)	平成 27 年度、主に行った事業等 ○ブックスタート事業 (継続) 年 6 回・絵本配布数：141 冊 ○子育て関連図書および関連情報コーナーの充実 (継続) ○子育て支援関連講座 (継続) 「絵本はこころのおやつ」18 人 「わらべうたであそぼう！(乳児向)」子ども 40 人・大人 46 人 ○図書館託児サービス (継続) 20 人 ○ファミリー読書のすすめコーナー設置 (町内書店と図書館の推薦図書の紹介、7 月より開始、奇数月) ○こどものほんコーナーに本の相談員設置 (6 月より試行、月 2 回おはなし会時、夏休み期間中週 1 回)		平成 28 年度、主に行った事業等 ○ブックスタート事業 (継続) 年 6 回・絵本配布数：167 冊 ○子育て関連図書および関連情報コーナーの充実 (継続) ○子育て支援関連講座 (継続) 「楽しもう！よみきかせ」58 人 「わらべうたであそぼう！(乳児向)」子ども 41 人・大人 51 人 ○図書館託児サービス (継続) 29 人 ○ファミリー読書のすすめコーナー設置 (町内書店と図書館、図書館関連団体の推薦図書の紹介、年 4 回、図書館内および町内小中学校と町内書店に本の紹介ポスターを掲示) ○こどものほんコーナーに本の相談員設置 (夏休み期間毎日)	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	34,507,000	34,272,586	34,909,000	34,623,111
成果・課題	評価・所見			
「子育て世代が魅力を感じる図書館運営」を目指し、引き続き子育て支援関連の行事等事業の開催および子育て関連コーナーの充実を進め、利用促進を図った。	<div style="text-align: center;"> A (前年度評価：A) </div> 平成 25 年 6 月に策定された「二宮町定住促進計画」(子育て編)に引き続き、「二宮町子ども・子育て支援事業計画」(平成 27 年度～平成 31 年度)においても、子育て世代が魅力を感じる図書館として充実させることがうたわれている。従来から力を入れてきた子ども向けサービスのほか、こどものほんコーナー相談員の設置、子育て世代をメインとした読み聞かせ講座の開催など、サービスをより一層拡充し展開したため、Aとした。			

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
重点施策 5 図書館の充実 ② 図書館資料の充実 (生涯学習課 図書館班)	平成 27 年度について ○町制 80 周年記念事業の一環として、図書館基金を充当し、町民に関心の高い健康、病気関連の図書を購入し、コーナーを設置して資料の充実を図った。 (購入金額：499,533 円、購入冊数 219 冊) ○引き続き現行の予算の維持、寄贈受入、雑誌スポンサー制度の活用を行った。		平成 28 年度について ○昨年度に引き続き、予算の一部に図書館基金を充当し、資料の重点購入を計画的に進め、資料の充実を図った。 (平成 28 年度重点購入：DVD、健康・医療関連図書、ティーンズコーナー図書) ○引き続き現行の予算の維持、寄贈受入、雑誌スポンサー制度の活用を行った。	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	34,507,000	34,272,586	34,909,000	34,623,111
成果・課題		評価・所見		
平成 27 年度より、予算の一部に図書館基金を充当し、資料の重点購入を計画的に進め、資料の充実に努めている。また、平成 27 年度より設置した「健康・医療関連図書コーナー」のPRと町の健康づくり事業の促進をかねて、「図書館で健康チェック！」と題し、健康づくり課と協力してイベントを行った所、予想を上回る多くの参加者があり、コーナーのPRにつながった。また、図書館基金について、図書館だよりの町内回覧、町広報等で積極的にPRを行った。		A (前年度評価：A) 図書館資料の充実については、計画どおり遂行することができたのでAとする。		

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
重点施策 5 図書館の充実 ③ 図書館サービスの充実 (生涯学習課 図書館班)	平成 27 年度について ○かねてより希望が多かった、こどものほんコーナーへの人の配置について検討するため、6 月より試行で相談員の配置を行った(月 2 回おはなし会時および夏休み期間中週 1 回)。 設置の時間、曜日等を決め、利用状況を比較、把握した。		平成 28 年度について ○平成 27 年度の試行を受け、子どもの利用が多い夏休み期間中毎日、こどものほんコーナーに図書相談員を配置した(火・木・金—9:30~12:00、 水・金・日—13:00~15:30)	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	7,050,000	7,047,964	7,050,000	7,049,091
成果・課題			評価・所見	
こどものほんコーナーへ人員の配置については、以前より希望があり、平成 28 年度に予算化され実現した。特に利用が多かったのは、夏休みの児童の宿題の資料探しの援助、保護者の児童書選びのアドバイスなどだった。コーナー内で、利用者の近くにいることで、利用の把握および声掛けなどができ、よりニーズにあったサービスができるようになると思われる。相談の間などに、読み聞かせや折り紙などなるべく子どもたちと接点を持つきっかけも作れるようにし、図書館利用を楽しんでもらいたいと考える。			A (前年度評価：A) 図書館サービス充実については、計画通り遂行できたのでAとする。	

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
生涯学習のその他の事業 <社会体育について> 温水プールでの各種水 泳教室 (生涯学習課 生涯スポーツ班)	水泳教室は、幼児（満3歳）から 大人までが参加出来る生涯スポー ツです。又、平成 27 年度は希望者 が多い、小学生のクラスを2つ増設 しました。 参加費 1 回大人 700 円・小人 500 円 入場料 1 回大人 400 円・小人 200 円 (大人 1,100 円・小人 700 円) 平成 27 年度実績 参加費 10,918,900 円 参加者 1,856 人 ・水泳教室 1,793 人 (大人 183 人・小人 1,610 人) ・水中ウォーキング 34 人 ・水中アクアビクス 29 人		水泳教室は、平成 28 年度より健 康づくり課の事業として実施しま した。	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	11,849,000	10,918,900		
成果・課題		評価・所見		

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
生涯学習のその他の事業 <社会体育について> 関係施設・整備 (生涯学習課 生涯スポーツ班)	設備については、毎日使用している機械の老朽化や施設が開館以来20年以上が経った機械があるため、優先順位を決めて修繕等を実施しているが、他の予定以外の修繕等が多く発生するため、十分な対応が出来ていない。 平成27年度温水プール修繕料 ・1,494,288円(20箇所) コピー機修繕 トレーニングルーム関係修繕 顕熱交換器整備 券売機修繕 エアコン関係修繕 塩素注入滅菌器交換修繕 自動火災報知設備等修繕 水銀灯安定器取替修繕 他		平成28年度も継続して、設備機器の老朽化や機器の対応年数による整備が必要になった。 また、修繕経費も毎年多くなっているため、状況を把握しながら優先順位を決めて修繕等を実施していく必要がある。 平成28年度温水プール修繕料 ・2,364,336円(14箇所) 監視装置無停電装置バッテリー交換 シャワーバルブ交換修繕 トレーニングルーム関係修繕 エアコン冷媒漏れ検査 消防設備修繕 25mプール戻し弁バルブ交換修繕 水質監視装置部品交換修繕 ポンプ類修繕 他	
	現計予算額(円)	決算額(円)	現計予算額(円)	決算額(円)
	61,399,000	58,856,619	89,579,000	88,847,040
成果・課題		評価・所見		
平成6年4月に開館して依頼、施設の老朽化や機器の整備に、費用を要するため、町の財政を圧迫することが懸念されるが、施設維持のために、修繕・工事の長期計画を立てて、改修していく必要がある。		B (前年度評価：B) 各施設が老朽化しており、修繕箇所が多くなっている。施設の管理や利用者の安全の観点から、今後も優先順位をつけ、計画的に施設修繕を行う必要があることからB評価とした。		

第3章 外部評価(意見)

評価委員：高橋 克美（人権擁護委員）

評価（意見）内容

評価委員：西山 千鶴子（二宮町民生委員児童委員）

評価（意見）内容

参 考 資 料

二宮町教育委員会点検及び評価実施規則

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、二宮町教育委員会(以下「教育委員会」という。)の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施することに関し必要な事項を定める。

(点検及び評価の実施)

第2条 点検及び評価は、実施年度の前年度における教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、行うものとする。

(点検及び評価の対象)

第3条 点検及び評価の対象は、教育委員会の活動及び二宮町教育委員会基本方針等に基づいて教育委員会が実施する施策等とする。

(評価委員)

第4条 教育委員会は、点検及び評価を透明性及び客観性を持った適正なものとするため、二宮町教育委員会評価委員(以下「評価委員」という。)を置く。

2 評価委員は、教育委員会の求めに応じ、点検及び評価について意見を述べるものとする。

3 評価委員は2名とし、教育に関して公正な意見を述べることが期待できる者の中から、教育委員会が委嘱するものとする。

(評価委員の任期)

第5条 評価委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 評価委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(点検及び評価の手順)

第6条 点検及び評価を実施するにあたっては、教育委員会各課がその所管する第3条に掲げる事項について行うものとする。

2 教育委員会は、前項の点検を基に、評価委員の意見を聴いたうえで、教育委員会会議に諮るものとする。

3 教育委員会は、評価委員の意見も含めた二宮町教育委員会点検及び評価報告書を別に定める要領により作成し、二宮町及び二宮町議会へ提出するとともに、町民に公表するものとする。

(点検及び評価結果の活用)

第7条 点検及び評価の結果は、教育委員会の施策の立案及び進行管理、事業の見直し等に活用するものとする。

(その他)

第8条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

二宮町教育委員会点検及び評価実施要領

(趣旨)

第1条 この要領は、二宮町教育委員会点検及び評価実施規則（以下「実施規則」という。）に基づいて実施する二宮町教育委員会点検及び評価の具体的な方法について必要な事項を定める。

(評価事項)

第2条 評価事項は、次に掲げる項目とする。

- (1) 教育委員会議、学校訪問、研修及びその他教育委員が直接関与している事業の活動状況
- (2) 教育委員会が管理及び執行している事業並びに教育長に委任している事務のうち、重点施策及び主たる取り組み
- (3) その他、教育委員会が特に記載するもの

(評価の観点)

第3条 評価の観点は、教育委員会の行う活動として適正か、目標とする効果が得られているか、コスト意識を持って取り組んでいるかを主たる観点とし、総合的に評価する。

(評価の基準)

第4条 点検評価においては、評価の観点を元に、評価対象について、次の区分により評価する。

評価	評価基準
A	目標とする成果が得られた。 または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B	おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C	取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D	取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

(報告書の作成要領)

第5条 実施規則第6条第3項に基づき作成する二宮町教育委員会点検及び評価報告書（以下「点検及び評価報告書」という。）は、教育委員会の活動状況点検評価シート（別紙1）及び教育委員会事務局の活動状況点検評価シート（別紙2）により作成するとともに、次に掲げる項目について掲載するものとする。

- (1) 点検評価対象年度の教育委員会基本方針
- (2) 点検評価対象年度末時点の教育委員の一覧
- (3) 第2条で定める評価事項に関する項目
- (4) 評価委員からの点検及び評価意見

(公表)

第6条 点検評価の町民への公表については、点検及び評価報告書を公告するとともに町ホームページに掲載することにより行う。

(その他)

第7条 この要領の実施にあたり、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この要領は、公表の日から施行する。

附 則

この要領は、公表の日から施行する。

別紙1 教育委員会の活動状況 点検評価シート

項目	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
教育委員会議の実施状況		
成果・課題	評価・所見	

別紙1 教育委員会の活動状況 点検評価シート

項目	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
学校訪問等の活動		
成果・課題	評価・所見	

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
	現計予算額	決算額	現計予算額	決算額
成果・課題	評価・所見			

平成 29 年度 二宮町教育委員会点検及び評価報告書

(平成 28 年度事業分)

平成 29 年 月発行 発行者：二宮町教育委員会教育部教育総務課

平成 29 年度 第 3 回 「にのみや 子ども はぐくみ塾」開催状況報告

1	開催日時	平成 29 年 7 月 27 日 (木) 18:30~20:00		
2	開催場所	二宮町民センター 2A クラブ室		
3	内容	コミュニティ・スクールを語ろう		
4	講師	清水 弘美 (八王子市立武分方小学校 校長)		
5	謝礼	なし		
6	参加者	教職員	4 名 (校長 2 総括教諭 2)	その他 10 名
		町民	11 名	教友会 8 名 (うちスタッフ等 4 名)
		保護者	5 名	名簿記載なし 2 名
		行政	4 名	
		教科書会社	2 名	
		スタッフ	3 名	計 45 名
7	アンケート回収数	26 名		

8 アンケートより

① 「第 3 回 にのみや 子ども はぐくみ塾」の開催をどのように知ったか。(複数回答)

- ①町のホームページ (4 名) ②町内掲示板 (1 名) ③教育委員会からのお知らせ (4 名)
④知人の紹介 (6 名) ⑤フェイスブック (10 名) ⑥その他 (町長から、大学の先生から) (4 名)

② これまでの参加回数

- ①初めて (15 名) ②1 回~6 回 (11 名) ※昨年度参加回数も含む

③ 内容についての感想

	1 参考 になった	2 参考 にならな かった	意 見
1	1		今やっていること、今考えていることで「いいんだな」と実感しました。大変なことも楽しかった、やって良かった、また協力したい、させてほしい、そんな思いを地域の人たち、保護者の人たちが感じ、それを見た子どもが地域の人たちを好きになり、自分の地域を誇りに思う。そんなコミュニティ・スクールになったらいいです。(教員)
2	1		コミュニティ・スクール=地域運営学校という訳語で理解できました。学校運営協議会がカギということもわかった。どこかの二番煎じではなく、二宮町独自の学校づくりをしてほしい。また、特別活動とともに学習面も向上するようにしてほしい。(町民)
3	1		清水校長をスカウトすべきだと思います。(その他)
4	1		地域で子育てをするという動きがこの町にあるのが嬉しい。その動きをどう進めていくのかなど具体例も分かって参考になりました。(保護者)
5	1		とてもわかり易く、勉強になった。コミュニティ・スクールは「やってみて判る」のだと思いました。(町民)
6	1		とても参考になりました。次は特活についての講演を聞きたいと思いました。ありがとうございました。(町外 学生)
7	1		とても参考になりました。保護者としてもっと学校に関わって行きたいと思います。私の子供の学校では H31 年度からの導入になりますが、今からとても楽しみです。(保護者)
8	1		学校運営協議会の代表 (リーダー) が重要だというのはたしかにそうだろうと思う。今日の講師

		の先生そのものがステキなので学校もコミュニティ・スクールも良いんだなあと思いました。(町民)
9	1	清水校長の力強い語りからコミュニティ・スクールについてのイメージを膨らませることができ、さらに、質疑応答等から二宮町民の熱意、期待が伝わってきて、他地域の者としては羨ましくも思いました。 話題となった特別活動は、合意形成を目指す話し合い活動と実践で成される教育活動です。コミュニティ・スクールについての十分な論議とマンパワーの結集により、二宮町がより良く踏み出していかれることを信じています。有意義な時間をありがとうございました。(町外)
10	1	昨日も横浜の実施について教えていただく機会がありました。今日とあわせて二宮小でできることは何かな、と具体的なイメージを持つことができました。まずできることから始めるスタンスでいます。PDCAのPからDにかけては学校主導でもいいのかと思いますが、G、A辺りから地域のリアクションがいただければうまくつながっていくのかと思います。(教員)
11	1	・地域の重要性、存在感、責任について具体的に判りやすい説明でした。 ・地域の周知方法にも例がありました、時間がかかりそう ・H16年に制定されているのに未だに・・・弊害がある要因、進まない理由 ・参加できない子供たちへは・・・(町民)
12	1	わかりやすく、身につきました。(町民)
13	1	コミュニティ・スクールが発展していけるように自分が何ができるかを考えました。また、参加させていただきます。(町民)
14	1	校長先生の強いリーダーシップ、校長先生の思いを受け止める地域、両方を支える教育委員会・みんなが無理なく楽しめるとういコミュニティ・スクールが続くと感じました。(秦野市教育委員会)
15	1	コミュニティ・スクールというものが具体的にどのようなものか知ることができ、そのために学校や地域はどう組織していくかを知ることができてよかったです。(町外・学生)
16	1	昨日も県教委主催のコミュニティ・スクール研修会に参加しました。内容的には重なるところが多く、勉強になりました。地域の住民として現状の「支援」の姿勢から「協働」へと進歩、様変わりが出て来ればと考えています。(町民)
17	1	①コミュニティ・スクール導入に向けて人材不足が懸念されるとの事、「人材」が一番大変だと思った。 ②生徒達を外に(地域に)出す事から始めた、と言われたがその具体的な方法が聞きたかった。(町民)
18	1	社会教育 生涯学習を学校内へ広げていこう、また、地域へ学校が積極的に参加して、同教育、学習を進めていこうとする形としました。二宮町はすでにコミュニティが高いと思います。二宮らしさですすめましょう。(町民)
19	1	私は子育てもそろそろ終了?なのかなという年齢(56才)です。私の子育ての時にこのような活動も少なく、PTAの役員を選ぶのも本当に大変でした。子育ての時同じ目標を持ち、活動していかれる人材をさがすこと、そんな事をしていかなかったことが残念でなりません。気づいた時が参加する時、チャンスですね。(町民)
20	1	初めて一色小のコミュニティ・スクールに関わる方たちのお話を伺いました。現時点では「やらねば」という方針が上からきていて、組織型をつくる事が目的化されていて意識の違いを感じました。これから、目的が共有されたらもっと進むと思います。 一色以外の町民への情報提供を希望します。(町民)
21	1	具体例がたくさん出てきて分かりやすかったし楽しかった。本当にワクワクすることが増えそうで楽しみ!! 私の小さい頃は小学校で盛大に収穫祭などをやってたので、そういうことももっと楽しく、ダイナミックになるといいなあ。あと、太鼓を始めたのですが、地域の方が子どもを遠慮して叱っています。もっとガンガン叱っていただけるような関係になりたいです。(議員)
22	1	学校を通して育っていく「地域」というものに興味があります。学校をひとつの拠点として「地域」をつくっていくことができたなら、今後の二宮町の明るい未来につながる気がしました。(保護者)
23	1	学校運営委員→コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度) 取り組みが広がってより良い機能をしていくと思います。可能性を感じます。(町民)
24	無回答	色々ともやもやしている所もまだまだありますが、話が聞けてよかったです。(保護者)

25	無回答	コミュニティ・スクールとは何か？ということがなんとか解りました。二宮町としてどのような姿にするか、早く全体的なイメージ作りが必要だと思います。(町民)
----	-----	---

9 「にのみや 子ども はぐくみ塾」についての意見・要望
(番号は「8-3」の回答者番号)

2	時代の流れに合ったテーマを毎回選んでいらして良い会と思う。(町民)
4	子どもと一緒に参加できると嬉しい。(保護者)
7	特別支援教育やインクルーシブ教育についてもはぐくみ塾で取り上げていただきたいと思います。(保護者)
9	これからも町内外に開いたはぐくみ塾にして頂けると有難いです。発信者としての二宮町の役割に期待し、市町村連携にもつながる取り組みとして刺激を受けていきたいです。(町外)
11	今後もコミュニティ・スクールについての会合を願います。(一色小準備会の状況等)(町民)
12	ガンバってください。(町民)
13	是非また参加させていただきます。(町民)
	教育委員が中心になって企画運営されていることに感謝しています。地域住民が少しずつ変容している様子がうかがえました。(その他) ※問8は無記入
14	ありがとうございました。(秦野市教育委員会)
19	これからもぜひ関心を持ち、見させていただきたいと思います。(町民)
21	跳び箱をとべない子に、低い段で跳ばせるのは実は危険なのだと体操の先生から学びました。30年以上ボランティアで体操を教えている方なので、そういう方もはぐくみの先生になって欲しいです。体育館で開催したらとても実用的なはぐくみになると思う。(議員)
23	自分ができることがあれば活動してみたい。(町民)
24	これからも興味のあるところは参加したいと思います。(保護者)
25	「はぐくみ塾」として実施した内容の広報もぜひお願いしたい。(町民)

第74回 二宮町体育祭

2017年

10月1日(日)

9:00~

町民運動場

【雨天中止】

《開会式》

1. 開会
2. 国旗・町旗・体育協会旗掲揚
3. 優勝旗返還
4. 大会会長あいさつ
5. 主管・審判長あいさつ
6. 来賓あいさつ
7. 選手宣誓

《閉会式》

1. 成績発表
2. 賞状・優勝旗・盾の授与
3. 大会会長あいさつ
4. 国旗・町旗・体育協会旗降納

【主催】 二宮町・二宮町教育委員会
 【主管】 二宮町体育協会
 【後援】 神奈川県

プログラム

- 花火打上げ…6:45 ■競技役員集合…8:00 ■選手役員集合…8:45
 ■開会式…9:00 ■閉会式…14:00 (予定) ※終了予定14:30

※集合時間後、出場競技の2競技前とします。 ※表記中「一般」は中学生以上を指します。

種目	出場者	場所	競技	説明	競技数	予定時間
[開会式]9:00~ (茶屋鼓笛隊による演奏8:45~)						
1	みんなで体操	全員	F	開会式終了後その場で体操の体形に広がりラジオ体操(健康づくり普及委員)と軽い準備運動を行う。		9:15~ (10分)
2	みんないっしょによーいドン!	未就学児童	F	未就学児童によるかけっこ。一斉にスタートし、ゴールまでかけぬける。ゴール先で参加賞を受け取る。		9:25~ (10分)
3	グラウンドゴルフリレー	小学生・60歳以上の男女各4名	T	全地区を4ブロックに分け、1/8周ずつグラウンドゴルフのクラブでゴムボールを打ち、クラブとボールをバトンとし、1周する。	4レース	9:35~ (20分)
4	団体職域別リレー	各団体・事業所	T	タイムレースとし、4人1組で走る。第1走者は、バトンゾーンのスタートし、それぞれ1/2周ずつ走る。小学生・一般男子・一般女子の3部門。なお、表彰は昼食前に行う。	6レース	9:55~ (20分)
5	むかでリレー	一般男女各2組(1組5名)	T	タイムレースとし、5人1組で男女各2組により、1周と1/4をリレーで行う。次の走者組にタッチして、タッチされた者は、先頭に声で伝え、それを合図としてスタートする。次のむかでにタッチでつなぐ。	4レース	10:15~ (35分)
6	小・中学生地区別リレー(予選)	小学生男女各3名(1・2年/3・4年/5・6年生から各1名) 中学生男女各1名 (3学年の内から1名)	T	全地区を4ブロックに分け、小・中学生4名による地区別対抗リレーを男女別に行う。第1走者は1/4周・第2、第3走者は1/2周・第4走者は1周(女子は1/2周とする)。第3走者以降はコーナートップとする。予選各組の1位と予選タイム上位2チームが予選通過とする。 ※エントリーは24チームまで受付ける。	8レース	10:50~ (35分)
[昼食]11:25~12:35 ①ジャギーキッズによるダンス演技披露 ②みんなで踊ろう民謡踊り ③せんべい食い競走(小学生・先着300名)						
7	玉入れ	男女合計20名	F	競技は抽選番号で行い、1回勝負とし、競技時間は30秒とする。 【例】抽選番号①と②が対戦、③と④が対戦、以下抽選番号順で行う。	3回	12:35~ (20分)
8	綱引き	一般男女各10名	F	競技は抽選番号で行い、3回勝負とし先に2勝したチームを勝ちとする。 【例】抽選番号①と②が対戦、③と④が対戦、以下抽選番号順で行う。	5回	12:55~ (25分)
9	小・中学生地区別リレー(決勝)	小学生男女各3名(1・2年/3・4年/5・6年生から各1名) 中学生男女各1名 (3学年の内から1名)	T	予選通過6チーム。No.6と同じ。	2レース	13:20~ (10分)
10	年代別地区別リレー	年代別男女各3名	T	タイムレースとし、20歳または30歳代男子1名、40歳・50歳代男子各1名、20歳代・30歳代・40歳代女子各1名の計6名で地区別対抗リレーを行う。女子を第1走者とし、第1走者~第6走者が1/2周ずつを走る。第3走者からコーナートップとする。女子、男子、女子、男子の順で走る。また、男子はトータル120歳以上であれば参加もできる。	4レース	13:30~ (30分)

[お願い] ※せんべい食い競走は午前10時00分より選手集合場所付近にて受付を行いリボンを渡します。(受付は出場者本人が行うこと。)

※駐車場の用意がありませんので、車での来場はご遠慮ください。

※予定時間は目安です。また、雨天時等は競技の変更・中止等がありますのでご了承ください。

[お知らせ] ※当日は運動場のグラウンド入口付近で飲物、お弁当、パン(巧味屋、ペーカリーみるく)の販売があります。お気軽にお立ち寄りください。